



11・3・12(土)
南NEWS NO69



南1年招待の写真です。13人全員でGAMBAりました。小笠原君のWタッチをはじめ、ボディフェイクなどいろいろな技が観られました。次が楽しみです。

上溝招待少女大会

(3/5 相模原麻溝公園スポーツ広場D面)

○予選Bグループ

南八王子 対 厚木 0-2 (前半0-0)

霜が溶け始めた1試合目は難しい試合となりました。足を取られて思うようにボールキープやドリブルができません。無理にボールを運ぼうとして奪われカウンターを受けてしまう場面が目立ちました。



前半は持ちこたえていた守備でしたが、後半、右サイドから崩されて失点してしまいます。また、足場の悪さからマークしきれずにシュートコースを空けてしまい、追加失点してしまいました。

でも実は決定的な場面は南八の方が多く作れました。ボールを奪った後の速い攻撃はとても良く機能していて、3度キーパーと1対1の場面を作りましたが、打ったシュートは2度枠をわずかに外れ、また1度はクロスバーをたたくものでした。ちょっと運にも見放された試合でした。

この試合で目立っていたのは、3年生の矢久保さん。ボールを持った相手への寄せが速く、何度も大きい相手を慌てさせるプレーを見せてくれました。

南八王子 対 青梅新町 2-5 (前半0-2)

得点者 片寄優さん、気仙さん

6年生が10人の相手にフィジカルの差が大量失点につながってしまいました。1対1の競り合いで負けてボールを失う場面が目立ちました。相手のエースは滝本さんや漆間花さんがしっかりとマークしましたが、どうしてもそこに守備が集中してしまうのでボールを展開されるとピンチになってしまいました。

でも攻撃陣は意地を見せてくれました。西條さんからのコーナーキックはファーポスト側にいた片寄優さんぴったりと合い、見事なボレーシュートが決まりました。また、相手ペナルティエリア前で、片寄安さん・片寄優さん・気仙さんへと細かいパスが繋がり、最後に気仙さんが思い切りの良いシュートを決めてくれました。

今日は2敗でしたが、内容的にはよかったと思います。まあこういう時もあるということです。気にしないで、次につなげよう。

○3位パートトーナメント (3/6 上溝小)

南八王子 対 町田相原 2-1 (前半1-0)

得点者 飯島さん、片寄優さん

強豪の町田相原さんと3位パートで戦うのは意外ではありますが、6年生を含めたフルメンバーではなんと今年度初めての試合でした。この試合は守備の集中力が高かったと思います。試合開始直後では、相手の中心選手二人にはマンツーマンでマークさせているわけではありませんが、気仙さん、滝本さん、小沢さんらMFと西條さん、漆間花さん、伊藤さんの3バックたちでマークの受け渡し、また挟み込んで自由にさせないという守り方がしっかりとできていたため、決定的な場面を与えませんでした。

攻撃ではボールを奪うと片寄優さん前のスペースへのスルーパスが有効で何度か相手ゴール前に攻め込めました。得点場面も左サイドの混戦の中を片寄優さんが駆け上がり、ゴールラインギリギリのところから鋭くプルバック(マイナスのセンターリング)すると、そこに走り込んできたのは移籍したばかりの飯島さん。躊躇なく振り抜いた右足のシュートが見事に決まりました。また、前半終了間際には片寄優さんの追加点も決まり、良い感じで前半を終えました。

でも後半は相手ペース。前半飛ばしすぎたのか、ガタッと運動量が落ちると相手の二人の中心選手の動きが目立ち始めます。ゴール前の浮き球を上手く対処できない間に奪われ、1点返されてしまいます。でもここからの集中力は見事でした。ボールを奪われても遅らせる、シュートコースを消すという守備がしっかりとできていたために、ヒヤッとする場面はほとんどありませんでした。シュートを打たれても、キーパーの安井さんのキャッチングが安定していたので、安心して見ていられました。

南八王子 対 エスペランサ 3-0 (前半1-0)

得点者 片寄安さん、片寄優さん (2)

2日間の最後の試合、のびのびとやりたいところでしたが、1試合目との間が4時間以上もあいてしまうとやっぱり集中力が続きませんね。ちょっとしたミスや判断の遅れから、ボールを奪われて、攻め込まれてしまいます。いやな雰囲気でしたが、その不安を吹き飛ばしてくれたのは、ペナルティエリア外ゴール右前で得た片寄安さんのフリーキック。右足の鋭いシュートはゴール左側のポストをかすめてゴールに吸い込まれました。後半は南八のペース。そして片寄優さんの2得点で試合が決まりました。初日は2敗でどうなることかと思いましたが、この日は全勝で一応の面目は保てました。

この大会では2年生、3年生の活躍が光りました。大きい相手を怖がることなく、追いかけて回し、ボールを奪い、フェイントやターンを使って相手を抜くという場面をたくさん見せてくれました。大会の優秀選手は、4試合を通じて攻守の要として動き回り、素晴らしいシュートまで決めてくれた気仙さんが選ばれました。おめでとう。

b y 飛田コーチ

